

2012年7月 第1号

# みなみかせ

発行 有秋南小学校区安心安全ネットワーク  
問合せ 姉崎保健福祉センター ☎62-8601

【ネットワーク発足にあたり】

## "子どもたちを見つめて"

## 安心安全のまちを！

明日の暮らしは  
安心？

人口の減少や少子高齢化をはじめとする社会・経済のさまざまな変化に対応し、人々の安心を確保するための社会保障制度の改革が云われて久しくなっていますが、遅々として進んでいません。その間、雇用や貧富の格差や介護や教育や子育てなど多くの社会問題が顕在化しています。さらに人々の価値観の多様化や地域の都市化などによって、近隣との関係が希薄化し、無縁社会とも云われています。

安心のまち・・・  
向こう三軒両隣

このような社会環境の中で、「誰もが住み慣れた場所ですら安心して自分らしく暮らせるまち」を実現するためには、日頃から向こう三軒両隣の付き合いを通して、



人の絆、地域の絆を深めお互いに顔の見える関係づくりを進め、何時・何処でも何事があってもみんなが支え合い・助け合いが出来る地域体制を構築しておくことが大切です。

町会や専門組織を  
越えて協働します！

そのために私たちは、歴史も文化もそして保有資

源も異なる五町会がその町会の垣根を越え、また民生委員・児童委員、青少年相談員、子育て支援員、町会役員などの地域活動をしているみなさまがその専門領域を越えて集い、様々な地域課題やニーズを把握し共有して、それを解決するための話し合いや活動を行う連合体的組織である「有秋南小学校区安心安全ネットワーク」を設立しました。

**危ない！交通事故**  
最近、通学途上の子どもを巻き込んだ事故が2件発生しました。安全運転に努めよう。

私たちの活動

- 子どもたちを支え見守る
- 防災・防犯の仕組みづくり

ネットワークの活動として「子どもたちの健やかな成長を支え見守る」取り組みを第一に挙げました。学校や地域の行事に積極的に参加して学校と地域の交流を深め、保護者と先生と地域の私たちが一体となって子どもたちを支え見守りながら子どもたちの元気な声が聞こえるまちづくりを進めたいと思います。更に、三・一一東日本大

震災の教訓を今こそ生かし、地域の防災・防犯の現状を点検し、また子どもたちと一緒に防災訓練や防犯訓練を行って、実効性のある地域安全の仕組みづくりを進めることにしています。

みなさまの  
「賛同を頂き  
協働と総働へ！」

「有秋南小学校区安心安全ネットワーク」は、やつと活動のスタート地点に立つ事が出来ました。みなさま方のご意見やご提案を頂きながら、目標に向け一歩一歩着実に前進して参ります。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

会員募集のこと

より広く深い取り組みによって、真に有益な地域福祉ネットワークで在りたいと考えています。みなさまがご参加をお願いします。

本ネットワークは、二千三百世帯、五千八百人が暮らす天羽田、深城、みどり、椎の木台および桜台の五町会地域からなり、ネットワーク会員は、有秋南小学校区安心安全ネットワークの構成

民生委員児童委員、更生保護女性会員、主任児童委員、福祉NW推進委員、子育て

推協会員、明健会員、ボランティア有秋

などで構成され399名が登録しています。

二四年度活動計画

一、学校や地域の行事に参加しよう

1. 学校の学習参観や運動会に参加し、学校・学習状況を実際に見、体験しながら、先生方や保護者のみなさんと交流を図る。

2. 社会体育振興会主催の芋ほりハイキング(十一月頃)に参加し、保護者のみなさんと交流し、人の輪を広げていく。

3. 子どもたちと通学路の安全点検を実施する

二、地域の安全を守る仕組みをつくらう

1. 南小学校で計画されている避難訓練、防犯訓練引き渡し訓練、町探検等に参加し、学校学習の現状を認識すると共に、子どもたちに地域活動を知ってもら

う。

2. 現状認識にもとづき平時時と災害時に分けて、行動指針となる仕組みづくりに取り組み、各町会方針にも反映してもらおう。

3. 市原市総合防災訓練に子どもたちも参加するため、具体的方法を検討し市原市に提案する。

三、事業の推進を図るために

1. 地域の活動拠点をつ

\*南小の空き教室を地域の人が、集会所、会議室、生涯学習の場、続書室等として利用できるよう具体策を検討する。

2. 広報誌を発行する。  
\*ネットワークの活動状況、行事の予定案内及び話題の紹介等を内容とした広報誌を発行する。

3. 地区防災訓練や地区敬老会等の地域活動を考えてみよう。

学校へ行ってみよう！



最近の活動報告

会議！

1. 定期総会

今年度の事業計画や役員等を決定し、活動初年度をスタート致しました(五月一〇日)。

2. 推進委員会

毎月第三火曜日の一九時から桜台自治会館で開催しています

学校交流！

1. 運動会へ参加  
地域の方々と一緒に運動会のお手伝いが出来ました。



業のお手伝いをしました。

3. 学習参観に参加

保護者の方々と共に子どもたちの授業状況を見学しました。終了後、交流の場を頂きました。

4. 校内防犯訓練のお手伝いをしました。

5. 空き教室の一室が防災備品展示室として検討されています。(安全部)。

編集後記

朝、七時半になると通学する子どもたちの元気な声が聞こえてきます。そして、新しい一日の始まりを確認します。

さて、創刊号「みなみかぜ」は、紙面が少なくネットワークのことが中心となりました。以後、内容・紙面を十分考慮し、地域のみなさまに必要な情報をわかり易くお伝え出来るよう頑張ります。

6. 校庭の花壇に青木さんのグリーンカーテンが成長しています。

会員の紹介		
氏名	役職	専門部
笹野哲郎	会長	総務部
福原 淳	副会長	子ども支援部
中村博之	副会長	安全部
内田信宣	副会長	子ども支援部
合田祐二	子ども支援部長	子ども支援部
泉水和浩	子ども支援副部長	子ども支援部
中島 徹	安全部長/理事	安全部
青木勇司	安全副部長	安全部
西村俊秀	総務部長	総務部
石川雅朗	総務副部長/庶務	総務部
鶴田建男	理事	総務部
鈴木利昭	理事	安全部
小川洋介	理事	安全部
坂井真由美	理事	総務部
斉藤雅宏	理事	総務部
東島光子	推進委員	子ども支援部
並木典子	推進委員	子ども支援部
藤田富紀子	推進委員	子ども支援部
岩崎キヌエ	推進委員	子ども支援部
朽名高子	推進委員	安全部
藤原 忠	推進委員	安全部
鈴木俊一	推進委員	総務部
田村浩一	推進委員	安全部
奈良輪義男	推進委員	子ども支援部
島崎一夫	推進委員	子ども支援部
安倍保男	推進委員	子ども支援部
泉水 清	推進委員	安全部
千葉修二	推進委員	安全部
土橋康夫	推進委員	安全部
青木祥代	協力員	
谷田靖彦	協力員	
島崎美智代	協力員	
郡司一二三	協力員	
鈴木由紀子	協力員	
伊井正道	協力員	
森 健一郎	協力員	
亀田文夫	協力員	
近藤信雄	協力員	
鈴木節子	協力員	